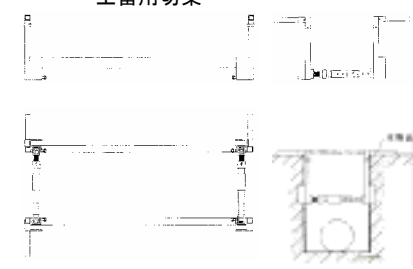
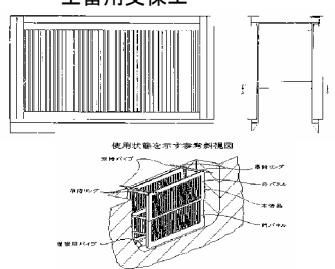


<b>意匠分類記号</b>	<b>意匠分類の名称</b>
L1-23	土留め用支保工

<b>対応する旧意匠分類</b>		※移行方法…全部移行「全」、一部物品を移行「一」	
<b>旧意匠分類記号</b>	<b>※</b>	<b>分類の名称 または 移行した物品</b>	
L2-2120	全	土留め工事用品	
<b>参考分類・参考物品</b>			
<b>分類記号</b>	<b>分類の名称 または 物品の名称</b>		
L1-13	足場用枠、手すり		
L1-14	足場用支柱		
L1-2100	端太		
L1-2200	仮設用支柱、梁		
L1-49	仮設工事付帯用品部品及び付属品		
L3-592	塀、さく等支柱		
L3-5951	門、塀、さく等枠材等		
L7-11	建物用基本構造材		
<b>再掲載指示</b>			
<b>分類記号</b>	<b>分類の名称 または 物品の名称</b>		
<b>この分類に含まれる物品</b>			
土留め用支保工	土留用切梁	腹起し	
<b>定義</b>			
<p>仮設工事としての土留めを構成するもののうち、土留め用支保工を分類する。                  矢板の位置を支持するための腹起し、切梁、支柱など。</p> <p>[解説]                  「土留め」とは、掘削したのり(法)面や傾斜面の土砂の崩壊を防止するために設ける架構(切取面をほぼ鉛直に保つ為に設ける仮設構造物)であって、土留め壁(矢板・土留め用支柱で構成)や支保工等で構成される。山留めと同義語。                  「支保工」とは、構造物を築造、架設する場合に、上部あるいは横からの荷重を支えるために用いる仮設構造物の一般的呼称。型枠・・、山留め・・、トンネル・・などがある。</p>			
意匠登録第 1176690 号 土留用切梁		意匠登録第 1053639 号 土留用支保工	
			
<b>他の意匠分類との関係(含まれない物品、意匠)</b>			
<b>分類付与運用メモ(付与優先関係、懸案事項など)</b>			
<b>旧定義記載事項</b>			
土木構築用火打ちピース、階段土留くい、地層とコンクリートの間の止水シート等を分類した。			
<b>過去に分類した物品の名称</b>			